

岩手競馬の発売実績等について

令和2年11月24日
財 政 部

1 令和2年度第10回盛岡競馬まで（通算第16回 4/5～11/9 96日間）の発売成績等

(1) 発売額の計画達成状況等

(単位：百万円、%)

区 分	岩手競馬発売額				広域受託 発売額
	自場発売	広域委託発売	インター ネット発売	計	
計画額 (a)	4,970	3,337	24,127	32,434	3,138
実績額 (b)	3,115	1,633	39,442	44,190	1,841
差額 (b-a)	△ 1,855	△ 1,704	15,315	11,756	△ 1,297
達成率	62.7	48.9	163.5	136.2	58.7

(2) 発売額の前年度比較

(単位：百万円、%)

区 分	発 売 額		
	令和2年度	令和元年度	前年度比
自場発売 (1日平均)	3,115 (32)	5,225 (56)	59.6 (58.4)
広域委託発売 (1日平均)	1,633 (17)	3,302 (35)	49.5 (48.4)
インターネット発売 (1日平均)	39,442 (411)	22,204 (236)	177.6 (173.9)
合 計 (1日平均)	44,190 (460)	30,731 (327)	143.8 (140.8)

注1 令和2年度は96日間の実績，令和元年度は94日間の実績である。

2 達成率及び前年度比は，円単位の金額で算出している。

3 端数調整等により，計数に異同が生ずる場合がある。

2 令和2年度の収支見通し（第9回盛岡競馬（4/5～10/26）までの発売実績を反映）

- 年間の収支見通しは、第9回盛岡競馬までのインターネット発売収入が計画を上回って推移したことにより、今後において必要となる水沢競馬場厩舎整備、馬資源確保対策（賞典費）及び喫察の施設・設備の修繕等に要する費用751百万円を計上したうえで、年間収支差（純利益）を276百万円確保できる見込みである。

（単位：百万円，％）

区分		10月 現計画額 (補正第2号) (ア)	見直し後 計画額 (補正第3号) (イ)	増減額 (イ-ア)	増減比 (イ-ア)/ア	増減の主な内容
岩手県競馬 発売収入	自場発売	5,329	4,610	△719	△13.5	インターネット発売収入の増
	広域委託 発売	3,094	2,372	△722	△23.3	
	インター ネット 発売	40,705	47,698	6,993	17.2	
	計 (A)	49,128	54,680	5,552	11.3	
その他収入 (B)		1,458	1,323	△135	△9.3	広域受託発売等の減
収入合計 (C= A+B)		50,586	56,003	5,417	10.7	
売上原価 (D)		43,100	47,510	4,410	10.2	発売額の増に伴う払戻金等の増
総利益 (E= C-D)		7,486	8,493	1,007	13.5	
販売費及び 管理費 (F)		7,452	8,203	751	10.1	水沢厩舎整備，馬資源確保対策，施設等維持修繕等
営業損益 (G= E-F)		34	290	256	752.9	
営業外費用 (支払利息) (H)		3	3	0	0.0	
経常損益 (I= G-H)		31	287	256	825.8	
特別 損益	特別利益 (J)	0	0	0	0.0	
	特別損失 (K)	11	11	0	0.0	
損益 (L= I+J-K)		20	276	256	1,280.0	

※令和2年11月20日開催の第7回岩手県競馬組合議会定例会の資料により作成した。

【参考：岩手県競馬組合から構成団体への償還額の試算】

- 令和2年度の年間収支差（純利益）見込 276,000千円 ①
- 「①」から1億円を差し引いた額 176,000千円 ②
- 「②」の1/2の額 88,000千円 ③
- 「③」の分賦割合による配分
 - ・ 岩手県 $88,000千円 \times 5.5/10$ （分賦割合）=48,400千円
 - ・ 奥州市 $88,000千円 \times 2.5/10$ （分賦割合）=22,000千円
 - ・ 盛岡市 $88,000千円 \times 2.0/10$ （分賦割合）=17,600千円

※償還時期は、競馬組合の決算確定後（令和3年度）の見込

【新しい岩手県競馬組合改革計画における元金返済ルール】

- 最終利益（純利益）が,
 - ・ 1億円以下の場合 ⇒ 全額を競馬組合の運営資金として内部留保する。
 - ・ 1億円を超え5億円以下の場合 ⇒ 1億円を超える額の2分の1を構成団体に返済する。
 - ・ 5億円を超える場合 ⇒ 前記に加え、5億円を超える額の全額を構成団体に返済する。

3 令和元年度の損益の状況

- 令和元年度の岩手競馬は、平成30年度に続いて禁止薬物陽性馬が発生し、7日間の開催取止めを余儀なくされる事態となり、お客様、競馬関係者及び県民の皆様にご迷惑をお掛けする状況となったことから、警備、監視体制を見直し、再発防止対策の更なる強化等に関係者が一丸となって取り組んだ。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第11回水沢競馬（令和2年3月20日から30日までの6日間）を無観客開催として実施した。
- 馬資源の確保に努めながら、ダートグレード3競走の施行、盛岡競馬場に整備した走路照明設備を活用した薄暮競馬期間の拡大のほか、複数場を対象とした場外発売、情報発信による来場・販売の促進に取り組み、発売額の確保に努めた。
- その結果、発売額は374億700万円となり、2,200万円の当期利益を確保した。

(単位：百万円，%)

区 分	平成30年度 決算額 (ア)	令和元年度			
		決算額 (イ)	増減額 (イ-ア)	増減割合 (イ/ア*100)	
発 売 手 収 入 岩 手 競 馬	自場発売	6,484	6,402	△ 82	98.7
	広域委託発売	4,058	3,842	△ 216	94.7
	インターネット 発売	20,791	27,163	6,372	130.6
	計 (A)	31,333	37,407	6,074	119.4
その他収入 (B)	1,829	1,620	△ 209	88.6	
収入合計 (C= A+B)	33,162	39,027	5,865	117.7	
売上原価 (D)	26,761	32,094	5,333	119.9	
総利益 (E= C-D)	6,401	6,933	532	108.3	
販売費及び 管理費 (F)	6,307	6,897	590	109.4	
営業損益 (G= E-F)	94	36	△ 58	38.3	
営業外費用 (支払利息) (H)	3	3	0	100.0	
経常損益 (I= G-H)	91	33	△ 58	36.3	
特別 損益	特別利益 (J)	0	0	0	—
	特別損失 (K)	12	11	△ 1	91.7
損益 (L= I+J-K)	79	22	△ 57	27.8	

※令和2年11月20日開催の第7回岩手県競馬組合議会定例会の資料により作成した。